

座間地区社会福祉推進協議会

(上宿、中宿、下宿、鳩川ハイツ、河原宿、河内、中河原をエリアとする住民の福祉組織)

回覧

令和5年11月20日発行

編集:座間地区社会福祉推進協議会
広報委員会

連絡先:☎046-255-3304

ゆたかだより

No.3

社会福祉活動への取り組み

座間地区社会福祉推進協議会会長 山本 博文



歴史探索風景

座間地区社協は7自治会で運営しており、役員の役割は輪番制となっている。

不慣れながら会長役として二年の活動で気が付いた点を述べたいと思う。

1. 横の繋がり 自治会内で活動していても隣の自治会との接点は希薄である。初めて会う役員会で全体をまとめられるのか不安であった。しかしそれは杞憂に過ぎなかった。会話を重ねるたびに自治会ごとの相違と共通点を認識でき、様々な行事を遂行できた。時には隣の自治会行事に参加し、今後の活動のヒントにできた。座間地区社協で活動した結果、自治会の横の繋がり大切さを認識した。

2. 協力体制 会長自身が勤めを持っており、全ての文書作成や指示を出すことはできなかった。しかし役員スタッフが良く気づき協力して行事を遂行できたことは私にとっては幸運だったし、7自治体の協力の賜物だったと感謝している。社会福祉を掲げる団体に会話と協力は欠かせない。座間地区社協は今後出くわす様々な課題に挑戦していけるものと確信している。

3. 奥深さ 社会福祉とは何か、の問いにすぐには説明できなかった。全ての人が幸せに、と頭では理解しているが、何をどのように行動していいのか。現在の座間社協の事業がすべて社会福祉に合致しているのかの議論は続く。少子高齢化や核家族化を背景に社会的孤立や生活困窮など、社会は変化している。限られたスタッフでこれらの変化に素早く対応することはできないかもしれない。今後地域の皆様の意見を頂きながら、社会福祉に沿った活動を選択しながら努力していきたい。

令和5年度の事業から

防災研修会の開催

副会長 小林 秀夫

7月1日(土)に会員研修会を開催しました。テーマは「災害時の避難等について」です。募集定員枠の37名が受講し防災に対する関心の高さを実感しました。講師は座間市役所危機管理課職員の方々にお願ひしました。教材冊子に従い講師2名による講義形態です。今回の研修会では「風水害」と「地震災害」を取り上げ、想定される被害を認識し、命を守るために取るべき行動を確認しました。また私たち自身の「日頃からの備え」の重要性についても再認識しました。

「地震災害＝避難所へ行かない備え」の語句が印象に残っています。小中学校や避難場所に行くことだけが避難ではありません。避難とは何をすればいいのか？この機会にもう一度防災意識を広めて、身の安全に役立ててもらふことが大事です。



←研修風景

お祝い品→



相模川クリーン推進運動

副会長

工藤 美喜夫

9月3日(日)相模川クリーン推進運動に座間地区社協として参加しました。

市民一人ひとりがゴミを捨てない心掛けで、私たちの住む街を美しい自然があふれ、明るく清らかなふるさととすることが目標です。座間地区から約20名の参加があり、1時間の清掃を行いました。

参加団体数:41団体

参加人数:1,354人

収集量:可燃物1.7t

不燃物2.0t



寿祝い

総務 小俣 憲一

寿祝いは敬老の日に「お祝いの品」をお届けし長寿のお祝いを申し上げるという ささやかな事業です。対象者は本年、満90歳を迎えられる方、または90歳を過ぎた方で寿祝いを受けておられない方です。

今年度敬老の日は9月18日、座間地区では3名の方にお祝いの品をお届けしました。

こんな活動をしています

鳩川サロンに参加して

理事 宮代純一

7月11日に鳩川お話サロン交流会に参加しました。対象者は「ご自分で下宿公民館まで歩ける方」となっており、「おたのしみ会」のタイトルで18名の方が参加されました。時間の合間に「新呼吸法」「童謡唱歌」「口腔体操」「座席で体操」など年配者には嬉しいひと時です。地区社協で提供した弁当を食べながら懇親会を行い、参加者とスタッフが自己紹介や意見を出し合い楽しい時間を過ごすことができました。高齢になっても仲間と集い会話を楽しめるサロンは生活に潤いを与えてくれると痛感しました。

サロンでの昼食会風景



歴史探訪報告

ふれあい歴史探訪

会計 中村勇

座間地区社協では春の事業として、電車を利用した鎌倉方面の歴史探訪を開催したので報告致します。

1. テーマ 「陽春の鎌倉に遊ぶ」
2. 日時 令和5年3月4日(土)
3. 行先 鎌倉文学館、高德院の大仏、長谷寺
4. 参加費 1,200円
5. 参加者 座間地区社協会員31名

天気は快晴で散策日和。電車に全員座っての余裕の遠足気分。文学館では鎌倉ゆかりの文学者らの原稿に見入り改めて文豪らの生きざまに感銘を受けた。高德院の仁王像の力強さに圧倒され見応えは十分である。訪問者を受け入れる大仏は穏やかな包容力を示している。長谷寺境内には梅や桜が花開き我々を歓迎してくれた。今回の行事は7自治会会員間の会話を増やし、横の繋がりを強化してくれたと感じる。31名参加での移動であったが事故無く春の鎌倉を満喫できた一日であった。

長谷寺にて



文学館を背景に記念写真



令和5年度新役員紹介

森川 満 監事

本年、地区社協の監事を担当致します森川と申します。6月までサラリーマン生活を続けて参りましたが定年退職するとともに、10月には高齢者の仲間入りをしました。今後はお世話になりました地域の皆様と社会に少しでも恩返しができるように頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

落合 純一 市社協

地区社協の皆様と協力して、「誰もが安心して暮らせる、ともに助け合い支え合うまちづくり」を目指しています。

しかし、そのためには座間地区に住んでいる方々一人ひとりの「力」が必要です。皆で元気ある安心な地域にしていきましょう！

